

桑原小だより

羽島市立桑原小学校通信

平成26年12月26日(金)

No. 12



実りの多い2学期でした！

羽島市立桑原小学校長 高橋佐千夫

2学期は、1年の中で最も日数が多い学期です。その中で、「小中合同運動会」や「修学旅行」、「地域ふれあい活動」や「ひびきあい集会」など様々な行事がありましたが、いずれも子どもたちを成長させるよい機会となりました。もちろん、日々の学習もがんばりました。象徴的なのは、1年生の授業です。11月26日に算数の研究授業を行いました。そこでは自分の考えをよく発表したり話をよく聞いたりしてみんな考えをつくる姿がありました。まさしく「発表名人、聞き名人」をめざす姿でした。この点を含め、私は9月1日の始業式で4つのめあてを話しました。終業式を迎えるにあたり、そのふりかえりをします。

◇めあてをもってやりきる

運動会の取り組みをはじめ、様々な活動で学級や個人でめあてをつくり、その達成のため努力できました。以前紹介した5年生の宿泊研修や6年生の修学旅行がそのよい例です。

◇いじめ〇をめざす

「あったかハートキャンペーン」に代表されるように、全校のみんなが温かい気持ちになるような言動をするよう心がけてきました。11月の「桑フェスタ」では、家族内で声援や励ましの声を送る子どもたちの姿をたくさん見ました。

◇聞き名人、発表名人をめざす

先に述べた例のように良い姿がたくさん見られました。現在、29名の聞き名人と27名の発表名人が誕生しています。

◇時間を大切にせいっぱい活動する

特に運動会に向けての取り組みでは、この姿が随所に見られました。また、「そうじキャンペーン」では、全校が時間いっぱいもくもくとそうじを行い、多くのそうじ名人が誕生しました。

上記はほんの一例です。各学級ではそれぞれ独自の取り組みを行い、学級ごとたくさんの宝物ができました。終業式では、そのがんばりを認め「宝物認定証」を渡しました。もちろん課題もあります。「かしこい子、あたたかい子、たくましい子」それぞれの観点で不十分だった点については3学期の課題として取り組んでいきたいと思います。

以上のように実りの多い2学期を終えることができたのも、保護者の皆様のご理解ご協力があつたからこそです。心より感謝いたします。

さて、明日から冬休みです。子どもたちには年末年始の様々な行事に、家族の一員として役割を果たして欲しいです。また、ややもすると不規則な生活の中、体調を崩したり思わぬけがを負ったりする期間でもあります。そうならないよう、子ども自身でまた家族お互いに注意し、笑顔で生活できる冬休みになりますようよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、今年1年本当にお世話になりました。良いお年をお迎えください。



「桑フェスタ」で。家族で楽しく遊ぶ。